

「あか牛」を利用した食育の実施

事業実施主体：山都町（熊本県）

○ 山都町では、山都町食育推進計画（平成25年度～令和4年度）の「学校教育活動全体における食育の推進」の基本目標を踏まえ、町の基幹産業である農畜産業の活性化のため、「産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ人を増やす」ことを指標とし、町内産の農畜産物の利用を推進している。

○ 学校給食において、地元産牛肉を使用した試食メニューを提供するとともに、児童生徒が畜産業の生育から消費に至るまでの過程を理解するための食育授業を実施し、児童生徒の関心を深める機会を創出した。

熊本県



山都町

【取組の内容】

○ 地場産農産物（あか牛）を活用した給食
山都町内小中学校9校にて地場産農産物（あか牛）給食の試食を年3回実施。



肉野菜炒め



ビーフシチュー



牛肉とごぼうの混ぜ寿司

○ 食育授業
作成した生産者の紹介や牛肉についての動画を活用した食育授業を実施。



【取組の成果】

○ 地場産農産物（あか牛）を食べながら食育授業を実施することで、地場産物への理解が深まった。

牛の飼育への印象が良くなり、肉を食べることが好きと答えた児童生徒が増え、家族にあか牛給食のことを話し、家でも食べたいと希望する児童生徒が増えたことから、あか牛の認知度が保護者にも広がった。

【事業の目標】

① 学校給食における地場産物の活用回数

事業実施前 6回／年

→事業実施後 27回／年

② 地場産農産物（あか牛）給食をまた食べたい、家でも食べたいと希望する児童生徒

事業実施前 74.8%

→事業実施後 84.1%

